



発行責任者：歯学部長 宮崎 隆，編集責任者：広報委員長 佐藤裕二
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL 03-3784-8000
ホームページ：<http://www.showa-u.ac.jp>

巻頭言 顎口腔疾患制御外科学教授 大野康亮 「口腔外科における医療連携」

当科のスタッフは常勤医師約60名、年間の初診患者数は約6000名、病棟手術件数は約600例で、口腔領域の全ての疾患の治療にあたり、東京城南地区の口腔外科治療の中心的役割を果たしています。当科の特色は患者さん本位の診療を心掛け、関連各科と「連携」して質の高い診療を行っていることです。たとえば、顎変形症の外科矯正治療では、矯正歯科、高齢者歯科と連携し、各種下顎骨切り術、上顎骨切り術、上下顎同時移動術、あるいは上・下顎の骨延長術などを応用し、審美的、機能的に満足いく結果が得られています。各科の専門家による本病院でなければできない質の高い治療の実際を地域の先生方に是非知ってほしいと思います。



さて、当科の新患の約70%は紹介患者さんです。地域の医院の先生方、病院の先生方と共存（病診連携・病病連携）するためには患者さん本位の診療を重視し、患者さんや紹介医の満足を得ることが最も大切なことです。それに加えて、地域の先生方のニーズに答えられる、歯科病院の医療連携の整備、卒業研修、セミナーや講演会の開催、ホームページの充実と更新などが急務と思われる。広報、地域歯科医療連携室各位のさらなるご協力、ご活躍と、地域の先生方も対象とした「昭和大学歯科病院だより」の刊行にも期待したいと思います。

新学部長・病院長 広報委員長 佐藤裕二

新学部長 宮崎 隆 歯科理工学教授
新病院長 川和忠治 歯科補綴学教授

ご挨拶は次号に掲載予定です。

報道された歯学部 広報委員長 佐藤裕二

- ・美容歯科の真鍋先生が毎日新聞に出られました。
- ・矯正科の榎教授が毎日新聞に出られました。
目立たない矯正装置です。

退職挨拶 歯科病院 看護部長 斉田昭子

このたび、定年を迎え34年間勤務して参りました昭和大学を3月末日をもって退職いたします。在職中は公私両面にわたりひとかたならぬご高配にあずかり、おかげさまで大過なく職責を果たすことができました。改めて深く感謝申し上げます。



顧みますと、昭和大学に入職した昭和46年はまだ歯学部はありませんでした。昭和50年に藤が丘病院、52年歯科病院、55年に昭和大学入院棟開設と足速に発展を遂げていく中で、私の配属された外科病棟も70床の一般病棟より胸部外科、腹部外科、脳神経外科、小児外科、ICUと5病棟に増棟していきました。平成4年昭和大学歯科病院に異動になりました。看護学生の歯科看護の教科書を執筆するチャンスを得、歯科医療の理解を深めることができました。看護部のメンバーである歯科衛生士の方々と力を合わせ看護部内に各種委員会の設置・運営は看護部の組織の確立と看護の質の向上につながったと確信しております。私立歯科大学附属病院看護部長会では、他の病院の看護部長と交流を深め情報交換をいたしました。昨年は当番校として歯学部長、病院長をはじめ関係各位のお力添えをいただき30周年記念式典を無事遂行できました。改めて深く感謝申し上げます。

今後は家庭の一主婦として、家のことそして地域ボランティアなどをしようかと第二の人生設計に取り組んでいるところでございます。

昭和大学の発展を心よりお祈りし、退職のご挨拶といたします。

歯周病学講座担当教授選任

広報委員長 佐藤裕二

新歯周病学講座担当教授 山本松男先生 (4/1)
鹿児島大学生命科学資源開発研究所助教
ご挨拶は4月号に掲載予定です。

講師昇任

広報委員長 佐藤裕二

齶蝕・歯内治療学 山田嘉重講師 (3/1)

平成17年度臨床研修医選考について

総合診療歯科 長谷川篤司

昭和大学歯科病院では平成17年度臨床研修医希望者の出願受付が始まりました。締め切りは2月21日ですが、出願数は順調に増えているようです。本年度は臨床研修医選考にあたり、面接・小論文に加えて、技能試験として歯形彫刻を課題としました。この選考の意義は、当然ながら公正な評価ですが、平成18年度の研修必修化に伴うマッチングの導入に備えて研修希望者の評価を（点数化して）順位付ける体制の準備としても位置づけています。さらに、これら課題は4月の登院直後からのオリエンテーションにおいて、解説や関連したレクチャーそして実習などを準備している大変重要な課題でもあります。

選考内容の情報公開は随時、歯科病院ホームページで行うことを研修説明会で伝達しているため、歯科病院内の休憩ホールなどで歯形彫刻の練習をしている学生の姿も散見されます。ホームページに掲載している選考内容は、①面接、②小論文（患者とのコミュニケーション、生涯学習、医療事故のうち1題を出題する）、③歯形彫刻（下顎第一大臼歯をワックス棒に彫刻する）です。

選考は2月25日（金）に歯科病院にて行ない、選考結果は3月3日発送で郵送することにしております。

学生表彰

広報委員長 佐藤裕二

上 條 賞	51番	佐藤 晴香
上條旗が岡賞	68番	塚越 香
同窓会賞	58番	高橋 真和
//	117番	山本 江美
//	50番	四谷 宏
総代・歯科医学生賞	22番	加々良朱摩子
歯科医学生賞	56番	鈴木 一成
//	97番	廣田 和茂
//	109番	宮澤 かおり
デンツプライ賞	119番	葎葉 清香
//	79番	南雲 達人

歯科病院案内カラー化

広報委員長 佐藤裕二

昭和大学歯科病院

〒145-8505 東京都目黒区三軒が通2-1-1
TEL: 03-3757-1151 (受付)
URL: <http://www.saijoh.or.jp/dental>

4月から配布予定です。

●可成り、専門科に分かれ、連携して行います

●診療科、専門科に分かれ、連携して行います

●入院について

入試情報

学部長 宮崎 隆

試験	募集	出願	試験日	合格発表
推薦	25名	H16.11.1 -11.10	H16.11.14(日)	H16.11.17 (水)
編入	若干名	H16.11.1 -11.10	H16.11.14(日)	H16.11.17 (水)
センター	10名	H17.1.4 - 1.22	H17. 1.15(土) 16(日) H17. 1.29(土)	H17.2.4 (金)
選抜Ⅰ期	53名	H17. 1. 4 - 1.22	H17. 1.29(土)	H17. 1.31 (月)
選抜Ⅱ期	8名	H17.2.14 - 3.1	H17. 3.6(日)	H17. 3. 8 (火)

1月29日（土）に平成17年度の歯学部選抜Ⅰ期試験、センター入試（大学入試センター試験利用入学試験）が旗の台キャンパスと大阪会場（コンピューター日本学院大阪駅前校）で行われました。

当日、東京は少し肌寒い陽気でしたが大阪は例年より暖かく、両地とも晴れでよい天候に恵まれました。選抜Ⅰ期の志願者数は全体で588名となり、昨年よりも10名減少しましたが、昭和58年以降で2番目に多い志願者数となりました。このうち大阪会場に74名もの志願者があり、初めての試みとしては多くの志願者が集まりました。合格発表は1月31日に行われ、52名（男子26名、女子26名）が合格しました。センター入試は、募集人員を昨年の3名から10名に増やしたこともあり、昨年より49名増の128名の志願者がありました。そのうち10名が大阪会場の志願者でした。合格発表は2月4日に行われ、10名（男子7名、女子3名）が合格しました。

3月6日には選抜Ⅱ期試験が行われます。職員の皆様にはご協力をよろしくお願い申し上げます。

新潟大学歯学部視察

口腔微生物学教室 五十嵐 武

2月10日に宮崎歯学部長以下、総勢12名（教授11名、助教授1名）で新潟大学歯学部を訪問し、歯学部長山田好秋教授を初めとする教育スタッフから新潟大学歯学部が取り組んでいる学部・大学院・研修医教育ならびに新設の口腔生命福祉学科など多方面にわたる説明を受け、意見交換を行いました。

一方、昭和大学からも岡野教授、久光教授らが新教育カリキュラムの紹介や本学歯科病院の特徴と概要を説明し、新潟大学側と意見を交換しました。その後、歯学部病院内の各診療科を見学しました。スペースが広くゆったりして綺麗なこと、特殊外来の数が多いことなどが印象的でした。最後に、12名もの昭和大学視察団を快く出迎えて下さった新潟大学歯学部の先生方に感謝の意を表します。



中村教授 立川教授 山田学部長

大連医科大学訪問記

歯科補綴学講座 古屋良一

平成16年11月2日から3泊4日の日程で、大連医科大学歯学部を表敬訪問しました。大学のある大連市は遼東半島にあり、緯度では新潟ぐらいに位置し、冬は寒いですが、海洋性気候のため雪はめったに降らないとのことでした。

大連は、かつて旧満州国の玄関として日本に占領されていた町ですが、日本に対し大変近親感を持っている都市とのことでした。この地には、日露戦争勝利の機転となった203高地があり、訪れましたが、小山の頂上に戦勝記念として乃木将軍が建てた砲弾のモニュメントがあるだけのシンプルなものでした。

大連は私の予想より遙かに近代的で、多くの高層ビルが立ち並び、掃除も行き届いた綺麗な町でした。

さて、大連訪問の本来の目的は、一昨年、昭和大学歯学部と大連医科大学歯学部との間で「学術交換プログラム」が締結されたので、その一環として、本調印に直接関係した川和歯科病院長、倉地先生（インプラント科科長）と私（顎関節症科）、それに通訳・案内役として胡先生（約5年前に大連医科大学から本学に留学し、大学院で歯科補綴学を専攻し、昨年3月、博士（歯学）の学位を修得）の総勢4名で大連医科大学を訪問し、学術講演を行うことでした。その折り、大連医科大学付属第二病院を見学することができ、写真はその時の記念スナップで、川和先生の右隣が歯科の主任、私の左隣が歯学部長の朱先生です。

学術交流として、先ず川和病院長が昭和大学歯科病院の現状、私が顎関節症、特に咬合との関係、最後に倉地先生がインプラントについての講演を行い、会場には沢山の聴衆で溢れて、成功裏に役目を果たすことができたと思います。

大連医科大学は、現在、留学生の受け入れに積極的であり、寮、等の施設も充実しているとのことでした。今後、我が校の新カリにてD6の選択実習に海外研修も取り入れているようなので、良い研修先となるであろうと感じました。



留学生紹介

口腔病理学教室 王燕

口腔病理学教室には2003年より中国の大連医科大学から王燕先生が留学生として研究されています。今回留学生紹介ということで自己紹介を王先生に書いて頂きました。



Brief Introduction

I was born in November 1974 in Dalian -- a beautiful northern city in China.

I graduated from Dental School of China Medical University in 1998 and got a bachelor degree. After passing the entrance examination of postgraduate in the same year, I continued my study major in oral and maxillofacial surgery and then got a master degree in 2001.

In July 2001 I began my employment as an oral and maxillofacial surgeon in the First Affiliated Hospital of Dalian Medical University.

In April 2003, I got the opportunity to study in Showa University under the instruction of Professor Tachikawa.

Research area:

The relation between some genes' expression and adenoid cystic carcinoma patterns.

Adenoid cystic carcinoma is a malignant tumor with a bad long-term prognosis. It was considered that its invasive ability was correlated with histological patterns, my research is on the difference of several genes expression between different patterns of ACC (Cribriform and tubular patterns), try to reveal the relation between genes expression and pattern (malignancy), it may offer us a pattern specific therapeutic way in the future.



診療統計(平成17年1月分)

区分	患者数	1日平均	前月1日平均	前年1日平均
外来患者	15732	749.1	794.3	708.9
入院患者	333	10.7	16.1	13.0

歯科病院職場見学 広報委員長 佐藤裕二

2月18日に世田谷区立駒沢中学校2年3人が歯科病院で職場見学を行いました。川和病院長の挨拶のあと、佐藤、斎田看護部長、日山衛生士長、外川事務長、志賀課長、菱田係長からさまざまな職種、仕事の内容などの説明を行いました。積極的な質疑応答の後、診療室内の見学を行いました。歯科医療最前線の雰囲気は彼女達を緊張させたようです。技工室の見学では実際の業務を見ながら丁寧な説明を受け、医療に携わる多様な仕事について学びました。今回、短時間ではありますが医療現場を実際に見学し、さまざまな職種や仕事内容に触れたことは、漠然としていた“仕事”という言葉をも身近なものにしたようです。突然のお願いにもかかわらず、快く説明して頂きました皆様に感謝いたします。地域に開かれた歯科病院をアピールできたものと思います。



接遇セミナー 歯科病院 看護部長 齊田昭子

去る2月21日月曜日、歯科病院第一臨床講堂に於いて、看護部会主催の接遇に関する研修会が行われました。講師に学研パル専任講師の後藤一郎先生をお迎えして『豊かな感性と接遇』というテーマで約1時間半ご講義いただきました。夕刻、仕事が終わってからの時間にもかかわらず70名ほどの受講者が集い熱気あふれる会となりました。講義では、接遇を考える上ではまずことのできない人間の本质についてから始まりコミュニケーションをとる為の具体的な方法、ついで職場における人間関係の活性化、また自己啓発の方法など多岐にわたってお話いただきました。美しい物を見て美しいと感じる豊かな感性を育て、人の痛み・苦しみを自分のことのように感じられるようになって初めてコミュニケーションをとることができるということを学ぶことができました。また、今後も楽しく勉強できる研修会を企画していきますので皆様の多数の参加をお待ちしております。

学生生活指導のための研修会

口腔病理学教室 立川 哲彦

平成17年2月21日に学生部主催の学生生活指導の研修会が開催され4学部と教養部の教職員 約80名が参加されました。本学は学生指導担任制度があることや各教室の若い先生方も実習での指導を行っているために、学生から多くの相談ごとを受け、その対応にしばしば困ることが生じています。そこで、学生の生活指導を行う上で、学生にどのような問題点があるか、その対処法はどの様にすべきかという点について、本学学生相談室カウンセラーの平野 学先生に講演をしていただきました。また、各種ハラスメントについての基本的な知識と対応法と題して、財団法人21世紀職業財団の宮坂和子先生に講演していただきました。特にセクシャルハラスメントやアカデミックハラスメントは大きな問題となりやすく、その対応も困難となります。宮坂先生は大きな問題になってからの対処よりも、その問題を各自がきちんと認識し、予防するということが大切であることを示されました。

講師の先生はいずれも事例を示しながら講演され、非常に有意義な研修会であったため、今後も学生部ではこのような研修会を行う予定でいます。



行事予定

広報委員長 佐藤裕二

- 3月 4日(金) : 卒業式
- 3月 6日(日) : 選抜Ⅱ期入学試験
- 3月10-11日 : CBT (D4)
- 3月16-17日 : 歯科医師国家試験
- 3月22日(火) : 卒業生謝恩会
- 3月24日(木) : 大学院修了式
- 4月 1日(金) : 歯科病院内見会
- 4月 8日(金) : 入学式



編集後記

広報委員 山本 剛(口腔病理学教室)

お忙しい中、多くの方にご寄稿頂いたことをこの場を借りて感謝いたします。また、多数至らない点があったことをお詫び申し上げます。

インフルエンザ、花粉など体調管理の難しい季節では御座いますが、皆様くれぐれもお体に気をつけてお過ごし下さい。